



練馬区には3万年以上も前から人々が生活していた！？  
 「発掘された練馬～出土品からみるくらし～」展  
 開催中

と き	6月29日(土)～8月4日(日) 午前9時～午後6時 月曜休館
と ころ	区立石神井公園ふるさと文化館(石神井町5-12-16) ※西武池袋線石神井公園駅下車徒歩15分

発掘調査で掘り出された遺構や遺物から、練馬区内には3万年以上も前から人々が生活していたことがわかっている。石神井公園ふるさと文化館に隣接する区立池淵史跡公園には、今からおよそ5,000年前の縄文時代に生活していた人たちの生活の跡が残されている。

本展では、区内でとりわけ数多く発見されている、縄文時代の遺跡から発掘された出土品をはじめとして、区内の遺物約80点を展示している。観覧無料。

【収蔵品企画展概要】

発掘調査では、当時の人たちの生活の痕跡である遺構や遺物(住居の跡や土器など)が土の中から見つかる。ただし、日本列島の土壌は酸性のため、動植物等の有機物は腐ってしまうことが多く、ほとんど残らない。

写真はおろか、絵も残されていない時代の人たちの暮らしを知るのは、容易なことではない。しかしながら、出土した遺構や遺物は、大昔の人々のくらしを探る貴重な手がかりとなる。

本展では、遺構や遺物が当時どのように使われていたか、そして当時の暮らしのようすなどが想像できるように、土器や石器、装飾品などを用途別に展示し、具体的な使い方を解説している。



小型壺・高坏(区指定文化財)  
中宮遺跡(早宮) 古墳時代

【会期中のイベント】

学芸員による展示解説会(申込みは不要)

7月24日(水)、8月4日(日)

いずれも午後2時～2時30分

【区内の遺跡について】

区内には、区内石神井川沿いなどを中心に、約120カ所の遺跡がある。発掘調査の結果、重要な遺跡であることが明らかになった遺跡の一部は公園などとして整備し保存している。池淵遺跡(池淵史跡公園)、栗原遺跡(城北中央公園内)などは見学ができる。



竪穴住居跡  
扇山遺跡(石神井台) 縄文時代

【問い合わせ】

練馬区立石神井公園ふるさと文化館 電話03-3996-4060